

これからの学校づくりを考えるために

想像を広げる新しい施設・教室・空間デザインの事例紹介

東京電機大学システムデザイン工学部デザイン工学科

伊藤俊介

2023.11.26

一宮市シン学校プロジェクト キックオフミーティング

自己紹介

- ・ 建築計画／環境心理学が専門。ユーザー行動・心理と建築の関係を研究する。
- ・ ユーザー視点の考え方を、建築からプロダクトやシステムのデザインに広げて工学的デザイン教育を行っている。
- ・ 学校建築が主なフィールド。他に集合住宅や公共・商業空間、避難行動、ごみ分別行動なども研究テーマ。
- ・ 1999~2001年 デンマーク国立建築研究所に留学、デンマークの学校建築を調査。以降も数年おきに調査、定点観測を続ける。
- ・ 研究からわかったことを実際の計画・設計にフィードバックするのが最近のテーマ。

今日の内容

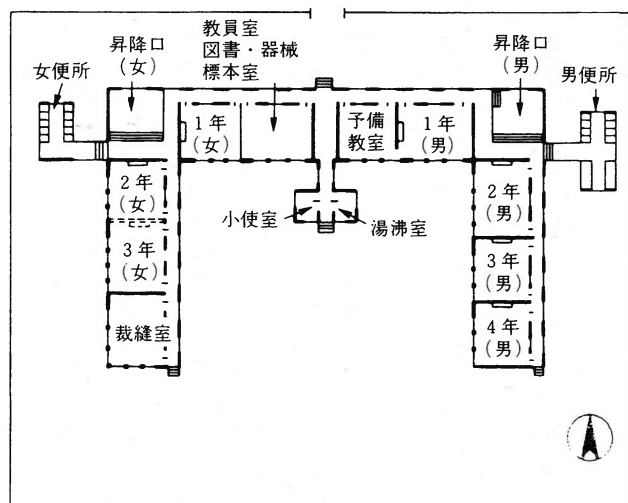
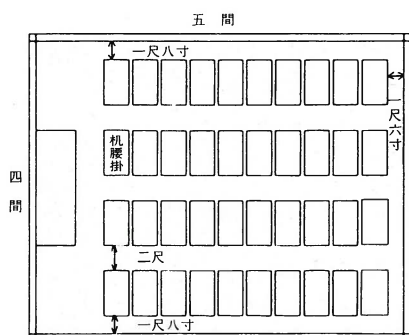
1) 学校はどのようにつくられてきたか？

2) 新しい学校をつくる課題・テーマ

- ・ 教育・授業方法の変化
- ・ ICTの導入
- ・ 教室空間
- ・ 多様なニーズ・インクルーシブな環境
- ・ 学校生活
- ・ 小中一貫校
- ・ 複合化・地域

3) まとめ

- ・ 皆でつくる学校
- ・ 施設更新の過程

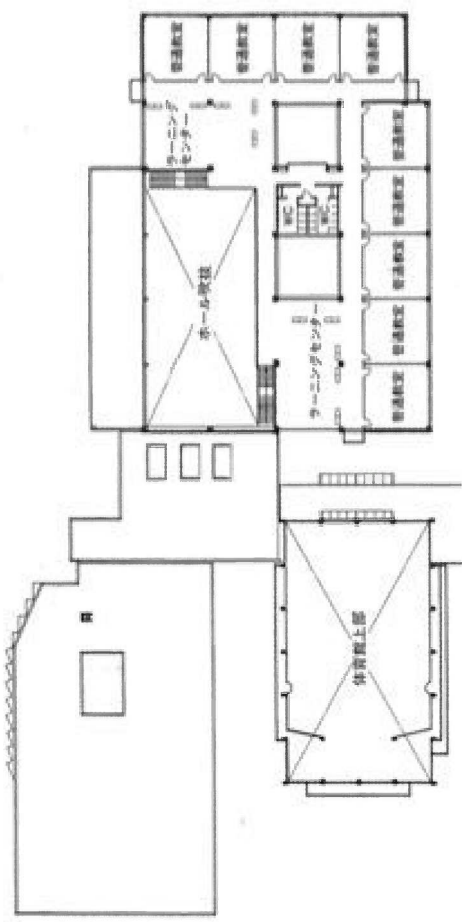
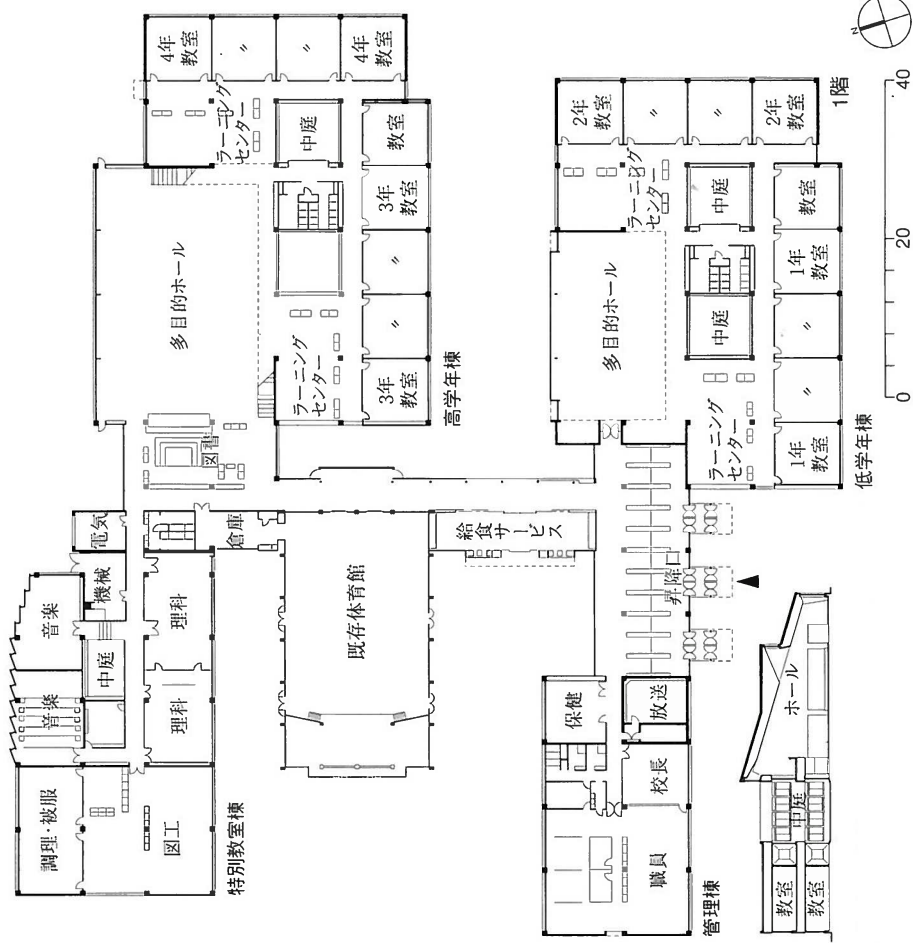


「学校建築図説明及び設計大要」仮想設計図・1895(明治28)年



明治時代の標準設計 学校建築の原型

1970年代の片廊下型校舎



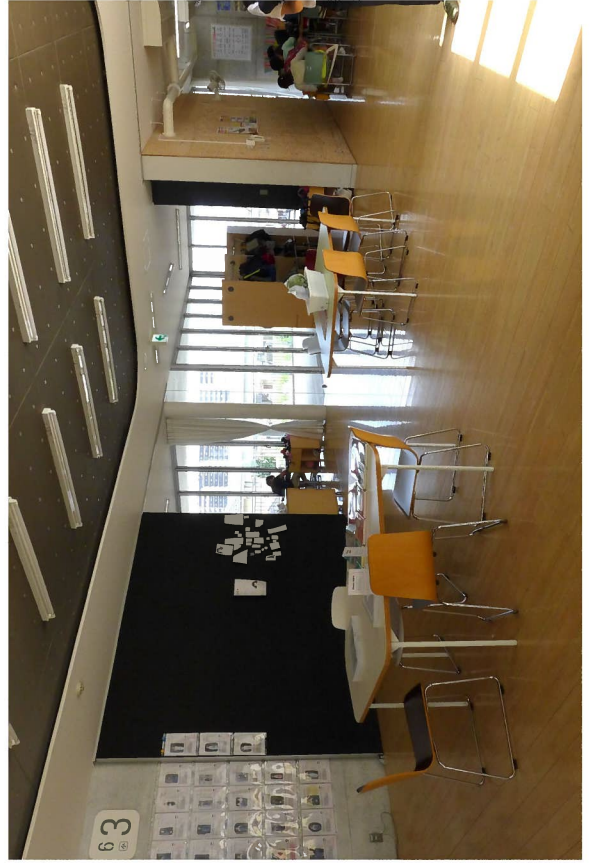
ラーニングセンター

オープンスタールの先駆例 東浦町立緒川小学校

今日の学校建築
流山おおたかの森
小・中学校



図：『新建築』2015年6月号



個別・主体的な学習

一斉授業形式からの脱却

学習のタイプ

- ・ 個別的な学習
 - ・ 自律的な学習
 - ・ 協働的な学習
 - ・ 探求的な学習
 - ・ 問題解決・プロジェクト型学習
-
- 小さな集団が
さまざまな資源を活用して行う
多種多様な活動が
同時並行する

個別・主体的な学習

授業はどう展開するか？

- ・ 集まる 目標の共有、課題の発見
- ↓
- ・ 散らばる 個人・グループで
調べる、話し合う、書く、実験する、
作る、演じる…
- ↓
- ・ 集まる 知識を共有する、発見を持ち寄る

⇒ 離合集散できる空間

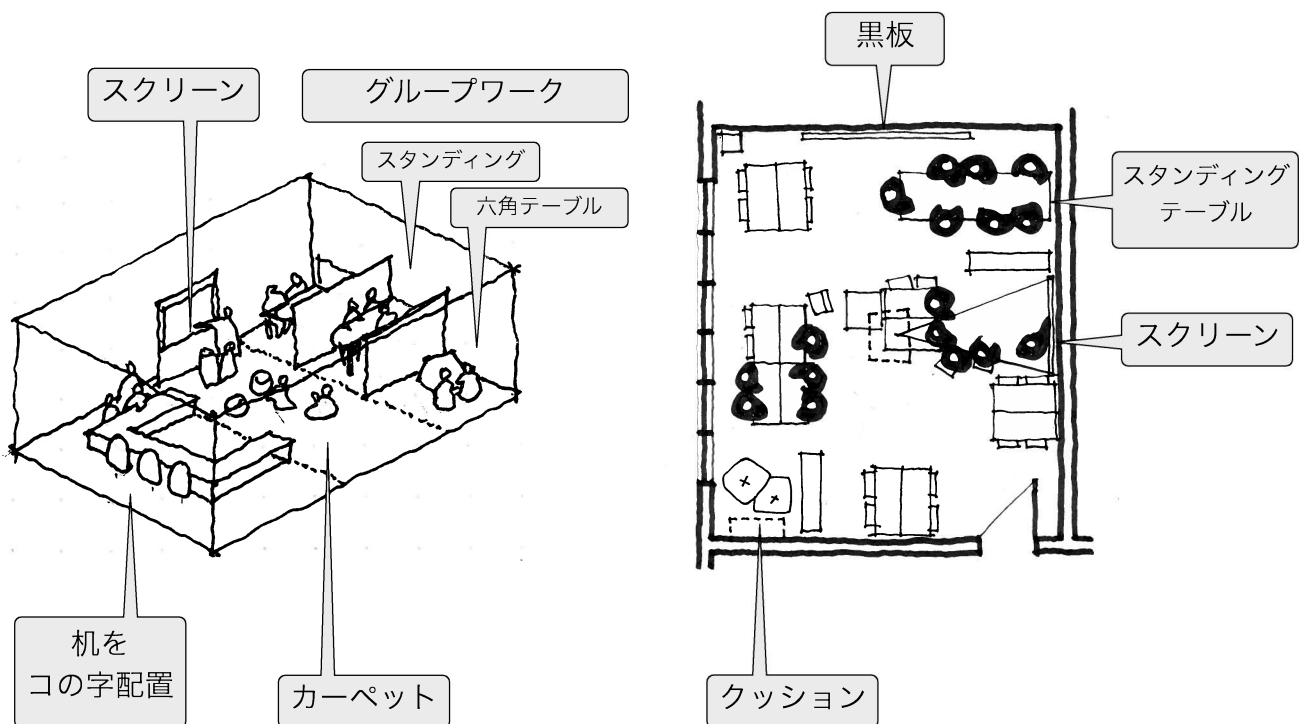
ICTの導入

情報の流れが変わる

- ・ 情報源は教科書に限定されない
- ・ 多様なメディアの活用
- ・ 児童生徒自身が情報を探索
- ・ コミュニケーションの選択肢の充実
- ・ インプットからアウトプットの連続

教室空間の変革

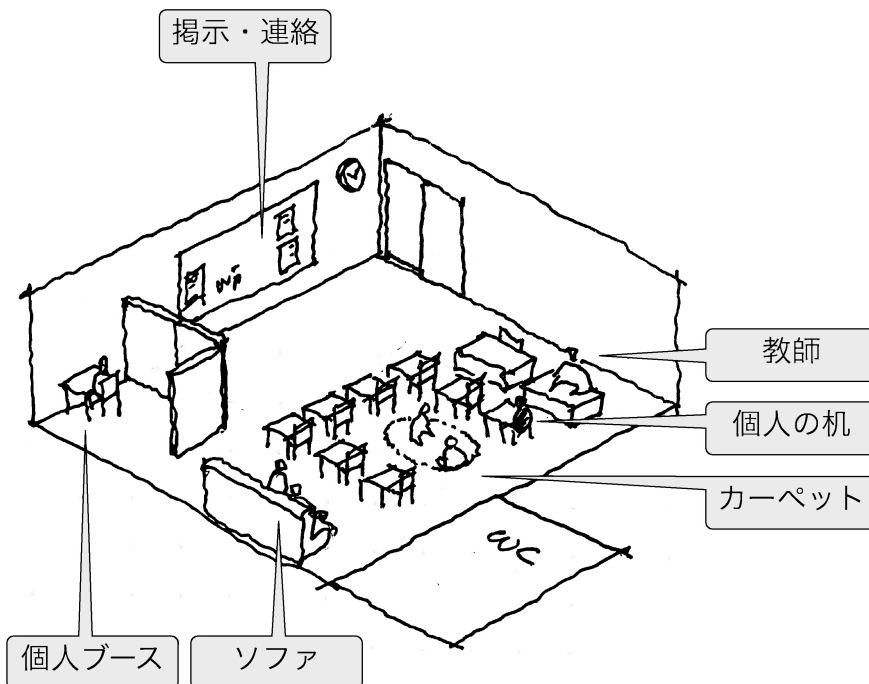
新しい教育を可能にする空間



多様なニーズ・インクルーシブな環境

さまざまな特性・ニーズをもつ児童生徒の誰もが快適に安心して学習・生活できる環境をつくる

- ・ 特別支援教育
- ・ 感覚過敏、発達障害をもつ児童生徒への配慮
- ・ 不登校児童生徒のための場所



スペシャル・サポート・ルーム

不登校生徒が自分のペースで登校し、学習しながら過ごす教室



集中ブース

吸音パーティションに囲まれた静かな場所

学校生活

児童生徒がともに過ごす場所・快適な環境



小中一貫校

事例：府中学園（広島県）

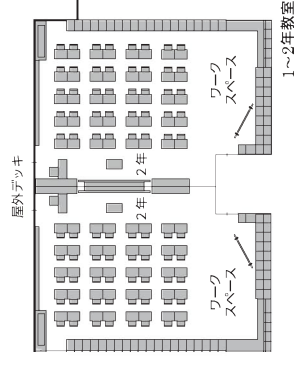
小・中学校のゾーンを分けつつ、特別教室棟・管理棟を共用
学年に合わせた教室まわりの空間構成



図：文部科学省「小中一貫教育に適した学校施設の在り方について」2015

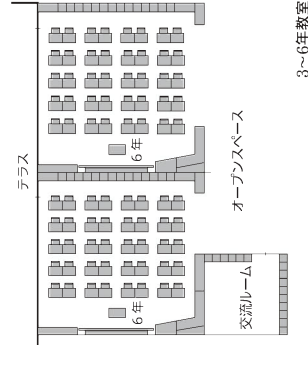
● 小学部：低学年教室

外部の屋外デッキから教室、ワークスペースまで、1つの生活空間で多様な学習環境を整備している。



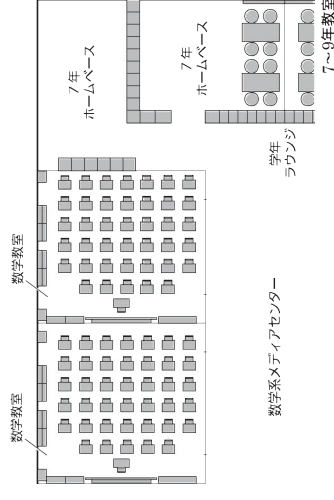
● 小学部：高学年教室

教室前のオーブンスペースには、教師コーナーや少人数学習用の部屋等が設けられており、様々な学習や交流が可能となっている。



● 中学部：教科教室

中学部はクラスの拠点となるホームベースや教科教室のほか、各教科のメディアスペースや教科職員室を設け、学習の深度に応じて様々な情報を得られるようになっている。



複合化・地域

コミュニティの中の学校

- ・ 施設の地域開放
- ・ 地域施設との複合化
- ・ コミュニティスクール

事例：志木小学校・いろは遊学館
(埼玉県)

生涯学習棟(公民館・図書館)と複合
特別教室・図書室を共用する



皆でつくる学校

- ・ 建築と教育は車の両輪
- ・ 「授業を変えたい」潜在的
ニーズ
- ・ 教室・空間を道具と考える
- ・ 発想を広げる、イメージ共有

図：文部科学省『新しい時代の学びを実現する学校施設の
在り方について』2022

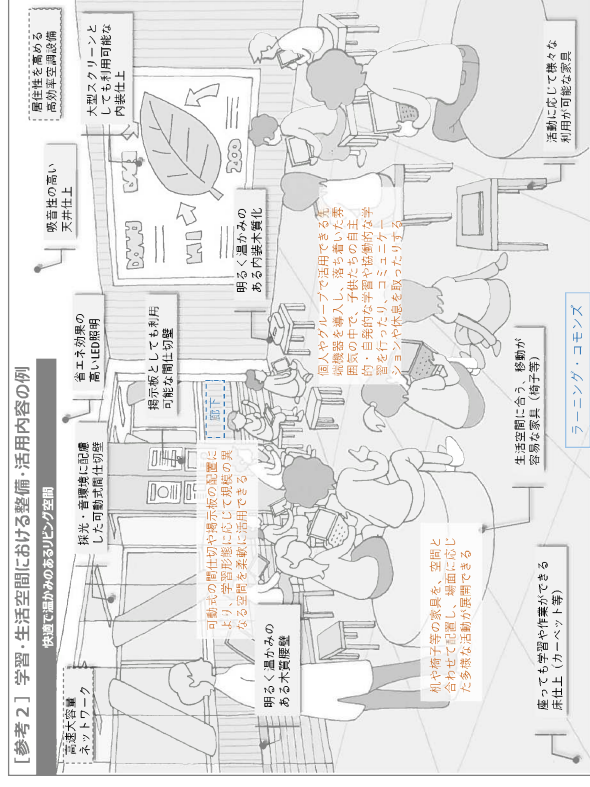
06 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

様々な教科書の教室の有目的な連携・対面による多様な活動の展開



学校施設全体を学びの場として捉え、階段状の空間を、ステージやプロジェクト等を備えた発表・表現の場としていく姿

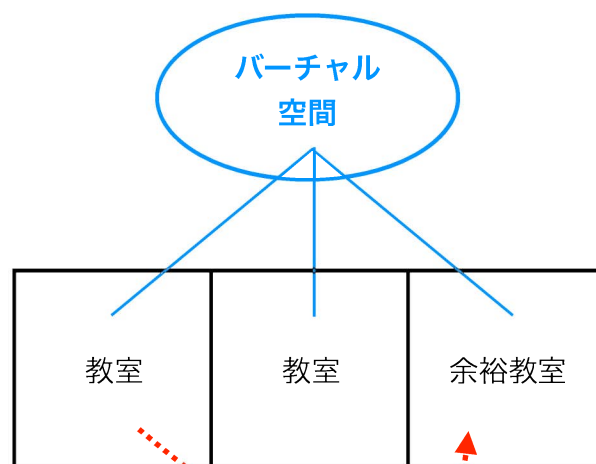
【参考2】学習・生活空間における整備・活用内容の例



施設更新の過程

長期間かけて建て替えていく間どうするか？

- ・ 既存施設でも試行錯誤
- ・ 学校単体で考えるのではなく、目標に向かう過程と捉える
- ・ ビジョンが必要！



ICTにより物理的空間の制約は減っている
物理的には分かれていても、「いっしょに」いる
空間をオンライン上に作ることができる

学校
どのような ~~校舎~~ を作りたいか？